

【報告者】 露木 みち子

【学年】 2 年 【教科・単元名など】 国語 みじかいことばで書こう

「見たこと、かんじたこと」

【実践内容】 見たことや感じたことを短い言葉で書く

- ・教科書の短い詩を読み、ものの特徴のつかみ方のおもしろさを感じる。
- ・1行詩をつぶやいたり、書いたりする。
- ・具体物を見つめ、イメージを広げる。
- ・思ったこと、感じたことを短い言葉で表現する。
- ・教科書の詩を読み、題名を当てる。
- ・題名を隠した詩を書く。
- ・題名当てゲームをする。

いろんな  
 すうじを、  
 ぐるぐる、  
 まわって  
 それがないと  
 学校にも  
 いけない。

白く、フワフワしていて、  
 わたあめみたい。  
 青い空に、うかんでいる。  
 おちて、ふかいかな。

ふやふやの、  
 かわいいおまてに、  
 山みたいな、  
 おみです。  
 本当に、  
 かわいい体だね。

【反省】

- ・1行詩や2行詩を学習して、詩は感じたことを短い言葉で書くことがわかった。
- ・「題名当てクイズ」は、ゲーム感覚で楽しく学習することができた。
- ・詩の題材を見つけることができない子がいるかと思ったが、身近なところからみな探すことができた。
- ・発表会では音読だけだったので、詩の表現のよさを味わうことができず、題名を当てることだけに集中しがちだった。みんなの詩をプリントしておくとうかった。

&lt;参考文献&gt; なし